

# 2026年度 第1回研修講演会



- 開催日時：2026年7月2日（木） 13時30分～17時00分
- 開催形式：ハイブリッド開催（会場+Microsoft Teamsでのライブ配信）
- 会場：[AP東京八重洲 A会議室](#)（東京都中央区京橋1-10-7KPP八重洲ビル13階）

## 【講演1】

保険薬局薬剤師における患者コミュニケーションの工夫  
～薬剤師による口腔の健康サポートも含めて～

慶應義塾大学薬学部附属薬局  
林 直子 先生



## 【講演2】

内服薬嚥下障害と簡易懸濁法  
～くすり相談部門に求められる錠剤粉碎の現状と対応～

昭和医科大学薬学部

社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授  
臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授  
倉田 なおみ 先生



受講対象：企業において関係業務に従事されている方  
（**製薬企業以外の方も可**）

募集人員：会場50名+web100名  
（定員になりましたら受付を終了いたします）

受講料：東薬工会員会社 6,000円/人（税込）  
東薬工非会員会社 9,000円/人（税込）

**申込期限：2026年6月25日（木）**

※事前（申し込み時）に質問を受け付けます。当日の質疑  
応答も可能です。

お申し込みはこちらから



<https://www.praise-et.jp/pn/m/semi/top.asp>

# 2026年度 第1回研修講演会 講演要旨



## 【講演1】

### 保険薬局薬剤師における患者コミュニケーションの工夫 ～薬剤師による口腔の健康サポートも含めて～

慶應義塾大学薬学部附属薬局 林直子先生

AI/デジタルの進歩も含めた環境変化に伴い保険薬局薬剤師として感じている「薬剤師業務や患者動向の変化」や「製薬会社取り組みに対する懸念点」について、また参加者からの事前アンケートで収集した皆さんのお困りごとへのアドバイスも含めて、患者さんとのコミュニケーションにおいて日頃実践している工夫の具体的な事例についてご紹介いたします。くすり相談窓口で問合せ対応をされている皆さんの、明日からの業務にお役に立てれば幸いです。



## 【講演2】

### 内服薬嚥下障害と簡易懸濁法 ～くすり相談部門に求められる錠剤粉碎の現状と対応～

昭和医科大学薬学部

社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授

臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授

倉田 なおみ 先生

医療現場では、嚥下障害患者に対する評価や食形態の検討が中心で、服薬は十分に検討されてこなかった。しかし、服薬は食物嚥下より高い嚥下機能を要するため、錠剤粉碎が解決策とされている。安易な粉碎は製剤特性を損ない、重篤な医療事故につながる可能性がある。

本講演では、軽～中等度嚥下障害時の経口服薬から重度嚥下障害における経管投与時の簡易懸濁法までを整理し、くすり相談部門として求められる製剤特性の情報提供、想定問答の視点、医療者支援に資する情報を解説する。さらに「内服薬嚥下障害」を共通言語とした相談対応体制の重要性について考察する。

\*講演2終了後に、講演1・2の質疑応答も含めたパネルディスカッションを予定しています

2026年5月15日

関係各位

公益社団法人 東京医薬品工業協会  
くすり相談研究会  
研究会長 山下 善照

## 2026年度 くすり相談研究会 第1回 研修講演会 開催のご案内

謹啓 当協会では「医薬品の適正使用の促進に関する事業」として、くすり相談研究会が中心となり、製薬企業におけるくすり相談窓口担当者への啓発活動、並びに資質向上を目的とした「研修講演会」を毎年、定期的に開催しております。

本年度第1回目の講演会では、講演1として、慶應義塾大学薬学部附属薬局 林 直子先生に、「保険薬局薬剤師における患者コミュニケーションの工夫～薬剤師による口腔の健康サポートも含めて～」と題して、AI/デジタルの進歩も含めた環境変化に伴い保険薬局薬剤師として感じている「薬剤師業務や患者動向の変化」や「製薬会社取り組みに対する懸念点」について、また参加者からの事前アンケートで収集した皆さんのお困りごとへのアドバイスも含めて、患者さんとのコミュニケーションにおいて日頃実践している工夫の具体的な事例についてご講演をさせていただく予定です。また講演2では、昭和医科大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授 臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授 倉田 なおみ 先生に、「内服薬嚥下障害と簡易懸濁法～くすり相談部門に求められる錠剤粉碎の現状と対応～」と題し、嚥下障害患者の服薬において安易な錠剤粉碎が医療事故の要因となり得ることを踏まえ、軽～中等度嚥下障害時における経口服薬から重度嚥下障害における経管投与時の簡易懸濁法までを整理し、くすり相談部門に求められる製剤特性に関する情報提供および適切な相談対応体制についてご講演いただく予定です。

いずれのご講演も相談実務に大変役立つ内容です。参加を希望される方は、下記の要領でお申し込みください。本研修会は、会場参加が難しい方向けのオンラインでの配信も予定しております。WEB参加の場合、会場での講師や聴講者とのリアルでのやり取りができない等の制限がございますが、場所の制限なく聴講が可能です。

“会場参加申込”、“WEB参加申込”の受付窓口は別となりますので、ご注意ください。

なお、状況によって、開催方式の変更（Teams会議）、中止・延期等もございますので、予めご了承ください。

謹白

### 記

- 開催日時：2026年7月2日（木） 13時30分～17時00分
- 会場：A P東京八重洲 A会議室 ※別添案内図参照  
東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル13階  
[会場までのアクセスマップはこちら](#)

3. プログラム :

【開会挨拶】 13 : 30~13 : 35 東薬工 くすり相談研究会

【講演 1】 (70 分) 13 : 35~14 : 45

「保険薬局薬剤師における患者コミュニケーションの工夫

～薬剤師による口腔の健康サポートも含めて～」

慶應義塾大学薬学部附属薬局

林 直子 先生

【休憩】 (10 分) 14 : 45~14 : 55

【講演 2】 (80 分) 14 : 55~16 : 15

「内服薬嚥下障害と簡易懸濁法

～くすり相談部門に求められる錠剤粉碎の現状と対応～」

昭和医科大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部 客員教授

臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部 客員教授

倉田 なおみ 先生

【休憩】 (10 分) 16 : 15~16 : 25

【質疑応答】 (25 分) 16 : 25~16 : 50

演者の皆様

※講演時間は目安となります。変更となる場合がございます。

4. 配布資料 : ※当日会場での配布はいたしません。

受講申し込みの際に登録いただいた受講者のメールアドレスに、開催日 2 日前までに配布資料のダウンロード方法等をご案内いたします。

(Microsoft OneDrive または WordPress 使用)

※なお、再配布はいたしませんので、期間内のダウンロードをお願いいたします。

5. 受講対象 :

**企業において関係業務に従事されている方 (製薬企業以外の方も可)**

(推奨)

- ・くすり相談部門に所属されている方
- ・医薬品の適正使用推進のために知識を修得したい方

6. 募集人員 : 50 名程度を予定 (定員になりましたら受付を終了いたします。)

7. 受講料 : ①東薬工会員会社 6,000 円/人 【消費税込】

②東薬工非会員会社 (一般) 9,000 円/人 【消費税込】

8. 支払方法 : 申し込み締め切り後に請求書を郵送いたしますので、振込期限内にお振込みをお願いいたします。

9. 申込方法 : ※必ず【会場参加申込】よりお申込みください。

- ①東薬工会員会社  
東薬工 HP「講演会受付システム」→【会場参加申込】よりお申し込みください。
- ②東薬工非会員会社（一般）  
東薬工 HP「研修講演会のご案内」→【会場参加申込】よりお申し込みください。

グループ申し込みの際、メンバーのメールアドレスの入力間違いにご注意ください。

※ご登録いただいた個人情報、参加者名簿の作成、参加費の徴収、講演会視聴、ID登録のために利用させていただきます。

- 1 0. 申込期限及びキャンセル：2026年6月25日（木）
  - ◆事務手続きの関係上、キャンセルは申込期限までに申込画面のキャンセルをクリックし、申込取消を行ってください。メールアドレスに申込キャンセルの確認メールが自動送信されます。このメールが届かない場合はキャンセルされていませんので、ご注意ください。
  - ◆申込期限後のキャンセルはお受けできません。参加費を請求させていただきますので、予めご理解、ご了承の上お申し込みください。
- 1 1. 質問の受付：事前に質問を受け付けます。当日の質疑応答も可能です。  
質問は講演中または質疑応答パートにてご回答頂く予定です。  
なお、すべての質問に対応できない可能性があることをご承知おきください。  
事前のご質問は、申込画面の質問受付欄に講演毎に記載ください。
- 1 2. 注意事項：
  - ◆状況により会場での開催を中止し、全員 WEB 参加に切り替える可能性がございますのでご承知おきください。
  - ◆資料掲載先の URL を他者と共有し使い回すことは固く禁止します。参加登録した本人に限っての使用となりますのでご注意ください。判明した場合は然るべき対応をとらせていただきます。
  - ◆講演の資料の再配布はいたしません。期間内のダウンロードをお願いいたします。
- 1 3. 問い合わせ先：  
公益社団法人 東京医薬品工業協会 調査3部 田下まで  
TEL：03-3270-3561  
メール：[tashita@pmat.or.jp](mailto:tashita@pmat.or.jp)

※東薬工として、5月から9月まで、クールビズを実施しております。  
皆様にも趣旨をご理解いただき、クールビズでお越し下さいますようお願い申し上げます。

以上

< 案内図 >

[講演会場が提供している案内図はこのリンクをクリックしてください](#)



〒104-0031

東京都中央区京橋1-10-7

KPP八重洲ビル 7F・10F・11F・12F・13F(受付12F)

- JR線「東京駅」より徒歩6分
- 東京メトロ銀座線「日本橋駅」より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋駅」より徒歩4分